

# 第4回委員会 (H29.8) における主な意見と対応

討議概要	本日資料
<p><b>【C I M試行事業の継続的实施、フォローアップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 過年度のC I M活用モデル事業における課題を解決するため、<b>本年度も引き続きモデル事業を実施</b>し、その中で解決に向けて取り組んでいただきたい。また、<b>昨年度策定したC I M導入ガイドラインのフォローアップ</b>についても取り組んでいただきたい。</li> <li>◆ CIMを用いた数量、工期、工事費の算出については単純ミスの排除による品質確保等、<b>受発注者双方の負担が軽減可能となるよう技術の適用を図る</b>とともに、職員が自ら考えて積算等が行えるための技術力維持についても配慮しながら進めていくことが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ガイドライン等の拡充 ⇒資料2-1</li> <li>◆ 今年度の実施状況 ⇒参考資料3</li> </ul>
<p><b>【発注者向けの教育等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ C I M導入ガイドラインでは受発注者の役割や作業手順等について記載されていることもあるので、ぜひ<b>発注者側の教育についても検討</b>をお願いしたい</li> <li>◆ 日本独自の産業文化の中でCIMを活用し成果を上げていくためには、先導的な事務所、先導的な人材の育成が重要と考えられるので、<b>国土交通省、産業界、大学を含めてCIMに関する教育をさらに推進していく必要</b>があると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ C I M研修 ⇒資料2-2 ⇒参考資料5</li> </ul>
<p><b>【3次元データ流通・利活用に向けた環境整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ C I Mを含めた<b>3次元データの利活用にあたっては、セキュリティや防災等の観点も踏まえつつ、建設業又はその他の業界でも活用できるような方向性について検討</b>いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 利活用環境整備 ⇒資料3-2</li> </ul>
<p><b>【E C I方式でのC I Mの活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ECIは貴重な事例と考えられるので、<b>早い段階で何を確認し、何を達成するのかを明確にし、現地と意見交換をしながら実施</b>していただきたい。可能であれば、モデル事務所として経験を蓄積し、人材の育成に繋げていただきたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 今年度の実施状況 ⇒参考資料4</li> </ul>